

NUFSA 留学生の家族のための日本語・日本事情コース

国際教育交流センターアドバイジング部門

伊 藤 ゆ り

「留学生の家族のための日本語・日本事情コース」は、名古屋大学に在籍する留学生の家族を主な対象とした名古屋大学留学生会主催のコースである。国際教育交流センターアドバイジング部門アドバイジング・カウンセリング室はコースの運営に協力している。4月と10月の年2回開講し、インターナショナルレジデンス東山の地下会議室にて火曜日と木曜日の週2日、1時間半の授業をふたコマずつ行っている。昭和62年(1987年)に開講したこのコースは、平成27年(2015年)度で29年目を迎えた。10月より入門から初級Ⅲまで4クラスを設け、今年度は前期37名、後期32名の受講生が在籍した。授業を担当するのは日本語教育の専門知識と経験を持つ4人の日本語教師であり、授業の他にも会話練習やパーティー等の行事においても協力いただいている。アドバイジング・カウンセリング室は教師たちと緊密な連携を図りながら、コースのさらなる充実や問題点の改善に努めている。

コースの運営資金は受講料の他に、名古屋大学留学生後援会からの補助金と名古屋栄ライオンズクラブからの寄付により成り立っている。名古屋栄ライオンズクラブからは平成6年(1994年)秋より継続的な支援を受けており、支援を受けた受講生の人数は今年度で延べ1,991名となった。開講式やパーティー、会話練習へも会員の方々をお招きし、受講生との交流を深めていただいた。また、年に一度クラブの例会に2名の受講生をご招待いただき、受講生はスピーチにて学習の成果を披露している。

コースには乳幼児を抱える受講生も多く在籍し、彼らは受講中地域のボランティアグループ「ひろば」による託児サービスを経済的負担なく利用できる。近年では名古屋大学の学生や留学生もボランティアグループのメンバーに加わりその活動をサポートしている。また、「ひろば」は授業外でも会話練習や各国料理を作る会を企画してくださっており、受講生にとって地域の方々との貴重な交流の場や地域社会との接点となっている。「ひろば」は、平成15年(2003年)から12年間、

本コースでのボランティア活動を継続しており、その献身的な活動が評価されて、愛知県国際交流協会より平成27年度国際交流推進功労者表彰を受賞した。

また、本コースの一環としてアドバイジング部門主催の防災ワークショップにも参加した。ワークショップは来日したばかりの受講生たちにもわかりやすい日本語や英語で行われ、災害への備えについて学ぶことができた。

本コースは留学生の家族を主な対象にしているものの、年々それ以外の受講生(留学生本人または本学研究者など)が増えている。留学生の家族以外の受講生数は、前半で11名、後半で12名だった。受講生のダイバーシティに合わせたコースとして充実させていくことが課題であり、今年度は下記担当教師からの報告にあるように、いくつかの変更を加えた。

本コースは名古屋大学留学生会の主催企画として継続されてきたが、留学生の家族に対する支援も公的に行なうことが期待され、今後大学がより深く関わって整備していくことが求められる。今後も関係者の声を反映し、より充実したコースにしていきたい。

コース担当教師からの報告

留学生の家族をサポートするために開設されたこのコースは29年目を迎え、今年度は、20か国、55人が受講した。

研究者や男性、短期滞在の留学生が増えるなど受講生の多様化や、「実用的で、すぐに使える日本語」が求められてきていることなどから、今年度は入門クラスでサバイバル日本語中心のテキストを採択、また全クラスでパワーポイント中心の授業を行うなど、大きく切り替えを図った。

新しいテキストでは、すぐに使える日本語のフレーズが多く取り上げられており、受講生の満足度も高かった。従来のテキストに比べると内容は平易である

が、その分、文字の読み書き練習や、実践的な会話練習に力を入れた。

パワーポイントの効用としては、語彙や文法導入の理解が早いことが挙げられる。また、教案が繰り返し復習に利用でき、学習の定着にも有効だと感じた。ただ、スライドに頼りすぎると単調な授業になってしまうため、今後はパワーポイントの長所と、会話や聴解、作文など従来の指導法を組み合わせ、効果的な指導法を探っていくことが課題となろう。

最後に、このコースで受講生の託児を行っているボランティアグループ「ひろば」が愛知県国際交流協会より、平成27年度国際交流推進功労者表彰を受賞し

た。託児サービスは、本コースの大きな特色の1つであり、今後もこのような関係各機関のご協力をいただきながら、より充実したコースを目指していきたい。

岩崎陽子

(火曜日 前期Ⅰ・Ⅲクラス 後期Ⅱ・Ⅲクラス)

落合三恵

(火曜日 前期Ⅱ・Ⅳクラス 後期Ⅰ・Ⅳクラス)

水野百々世

(木曜日 前期Ⅰ・Ⅲクラス 後期Ⅱ・Ⅲクラス)

吉村智子

(木曜日 前期Ⅱ・Ⅳクラス 後期Ⅰ・Ⅳクラス)